



長 崎 県
中 小 企 業 家 同 友 会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
 U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」
 ～同友会の学びで時代の変化をチャンスに!～**

青年経営者会 第36回 定時総会 開催!!

日時：5月11日(土) 19:00～21:00 会場：ホテルニュー長崎



青年経営者会第36回定時総会を開催いたしました。ご来賓には代表理事をはじめ、理事の皆様、副支部長、北九州青年懇話会の方々が駆けつけていただき、大変盛り上がった総会となりました。

前期の期首会員数は29名だったのですが、安井前会長の精力的な増強活動の結果、今期の期首会員数は64名と大幅な増員に成功しました。これまでは長崎市内の会員を中心に活動をしていたのですが、今期は活動範囲を県全体に広げていく予定です。それぞれ、県南、県央、県北にブロック長をおくブロック制を敷いて県全体で青年経営者会活動を盛り上げていきたいと思っています。

総会後の懇親会の新執行部挨拶のなかで、飛田精一新会長から、青年経営者会活動を盛り上げていき、前

期からの目標である、会員数100名突破も引き続き目指していく旨の決意表明がなされました。

残念ながらまだ長崎市内以外の会員からなかなか参加いただけていないのが現状ですが、そういった課題を各ブロック長と連携して克服していかなければならない、と強く思った総会でした。



(文責 北川 亮)

目次

青年経営者会 第36回 定時総会 開催報告	1	入会・交代会員紹介	12
各界からの提言	2	理事会報告	12
5月例会報告	3	会員動向・会員数	13
会員活躍	9	7月例会案内	14
事務局企業訪問	11		

各界からの提言

西海みずき信用組合 理事長 陣内 純英



プロフィール

1974年3月長崎西高卒。1978年3月東大法学部卒。同年4月日本銀行入行。2011年5月退職。日銀時代は、旧大蔵省への出向、調査統計局調査役、金融機構局考査役等を経験。2011年5月三条信用金庫（新潟県）入庫、2017年12月退職。三条信金では、常務理事として総合企画部長、地方創生推進等を担当。2018年1月より西海みずき信用組合理事長。

西海みずき信用組合は、昨年1月に「佐世保中央」と「長崎県民」の2つの信用組合が合併し発足しました。長崎県中小企業家同友会には両組合とも参加しており、現在も幹部職員が佐世保支部と北松浦支部にお世話になっています。

信用組合は、地域の中小企業等が組合員となり、お互い助け合う組織です。中小企業家同友会の会合にお邪魔すると、冒頭で、

- 会員の要望、相談に応えられる会にしよう。
- 団結してわれわれの企業を発展させよう。
- 組織の力で中小企業の新時代を築こう。
- みんなのちえと力で同友の輪を拡げよう。

とスローガンを唱和されますが、これが、信用組合の理念にピッタリで、信用組合の会合に出ていると錯覚してしまう程です。だから、中小企業家同友会には強い親近感を感じています。

ただ、我々の場合、相互扶助の理念を十分実践しているかというと、決して胸を張れません。高度成長期は資金不足の時代で、組合員から預かった預金を、資金不足の事業者に融資する金融仲介が一番の相互扶助だったので。しかし、金余りの現在、金融仲介の役割は大幅に減衰し、かといって他の有効な相互扶助のあり方も見出せないのが実情です。

この点、中小企業家同友会では、様々なワー

クショップや講演などを通じ、経営のノウハウを共有化されていますし、ビジネスマッチングも成立しているでしょう。素晴らしいです。信用組合の組合員にも、是非入会を勧めたいと思います。

本稿は、「各界からの提言」ということですが、我々の方が見習う点が多く、提言など僭越です。しかし、敢えて申し上げれば、いつも唱和されているスローガンを実践していくことでしょうか。

たとえば、同友会で長く付き合っている仲間と趣味や家族構成も知っているけど、お互い事業所を訪問したことがないという方はいませんか？ また、新規事業展開のアイデアを思いついたけど、一人では事業化が難しいので、そのうち諦めてしまったという方はいませんか？

そこで、事業所の相互訪問等により、ビジネスモデルや技術力などを深く理解しあい、より頼りになる仲間となりましょう。また、一人の野心やアイデアを膨らませるブレインストーミングをみんなで行う機会をもっと増やしてはいかがでしょう。それにより異業種の知恵が融合され、次々と草の根オープンイノベーションが実現し、素敵なビジネスが生まれてくるのではないのでしょうか。想像するだけでワクワクしますよね。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	5月28日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	ダイバーシティを知ろう ～県ダイバーシティ委員会の取り組み～
報 告 者	(有)菅原産業 取締役 菅原 千代枝 会員 (長崎出島支部) (有)東友建設 営業 寺尾 昌晃 会員 (諫早支部)



長崎浦上支部の5月例会は、長崎出島支部の菅原千代枝さんと諫早支部の寺尾昌晃さんにご報告していただきました。

菅原さんは昨年度まで県の初代ダイバーシティ委員長を2期務めていました。寺尾さんは今期からダイバーシティ委員長を務めています。

今回の例会は長崎浦上支部ダイバーシティ委員会が担当であることから、このお二人に長崎県のダイバーシティ委員会活動の過去と現在と未来についてご報告していただくこととなりました。

まず菅原さんの報告から始まりました。菅原さんの会社は廃棄物等の処理業を営んでおり、ペットボトルの選別等の作業に知的障がい者を長年雇用してきました。その経験の中で生まれた、「なぜ障がい者の子たちは仕事ができるのに働く場所がないのか？」という疑問への答えを求めていたところ中村副代表理事と出会い同友会に入会しました。その後精力的に同友会活動を行い、2017年度から初代ダイバーシティ委員長に就任しました。報告では委員長時代の活動内容を

詳しく説明していただきました。話だけでなく、実際に障がい者雇用をしている会員企業の作業風景の動画を見せた時は参加者の皆様も関心を持って見ていました。

続けて寺尾さんに報告していただきました。寺尾さんはお父様も同友会員でした。お父様から引きつぐ形で同友会に入会しました。昨年度は諫早支部のダイバーシティ委員長として支部独自の活動を活発に行ってきました。実際に諫早支部の中から特別支援学校の職場実習受け入れや障がい者を雇用をする会員企業も出ました。報告では主に今年度の県ダイバーシティ委員会の活動予定を話していただきました。障がい者雇用だけでなく、外国人やLGBTなどの多様なテーマに取り組んでいきたいという決意を示していただきました。

長崎浦上支部では初めてダイバーシティをテーマにした例会でしたが、ディスカッションも非常に盛り上がっていました。今回は報告者のお二人が所属する長崎出島支部、諫早支部からも多くの会員の方にご参加いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(文責 北川 亮)

長崎出島支部 例会報告

日 時	5月21日(火) 18:00～20:30
会 場	ホテルニュー長崎
内 容	委員会活動のあり方とは

長崎出島支部では今回、初めての試みとして県の各委員長の活動方針をビデオにて視聴し、支部での委員

会活動を活発化しようという例会を行いました。支部の中にはまだ自分がどこの委員会に所属しているのか不明な会員もいて、活動の難しさ、会員への周知方法の難しさなどを皆さん感じたと思います。

ディスカッションでは、各委員会に分かれて、自分の委員会がどのような活動をしていて、今期1年でどう進めていくのかを話し合い、最後は各委員会からの発表により支部全体に活動方針の周知を行いました。



その中から、どのようなことが自社に落とし込めるのかを学び、持ち帰ることができたのではないのでしょうか。

懇親会でも、各委員会に分かれて着座し、更なる懇親を取れたのではないかと思います。

通常の例会と違い、「何のために委員会活動の例会を行うのか」と思う方もおられるかと思いますが、委員会活動の中にこそ、自社の発展に繋がる学びがある



のではないのか、と感じる例会でした。

(文責 本多 邦暁)

大村支部 例会報告

日 時	5月16日(木) 18:30～21:00
会 場	サンスパおおむら
テ ー マ	経営労働委員会担当例会 ～経営指針作りは人を生かす経営の原点！～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 永野工務店 永野 和博 会員



新しい元号「令和」になって初めての大村支部の例会はいつもの長崎インターナショナルホテルを飛び出して、森園町の「サンスパおおむら・会議室」での初開催となり、初物づくしの開催となりました。

宇土さんは同友会のスローガンのひとつ「会員の要望・相談に応えられる会にしよう」という文言が大好きでその思いを胸に常に同友会活動に参加しているそうです。しかしながら多くの会員さんが同友会活動を例会への参加のみとなっており、同友会で実施しているたくさんの学びの機会・学びの場を活用していない

ことが残念でならないとの思いを吐露されました。

今年度はそういった現状を踏まえて県経営労働委員長として県内各支部にて「同友会の学びの場をもっと活用すること」を会員さんに伝えるために、まずは大村支部で今年度最初の報告となりました。

経営労働委員会の活動は「経営指針の成文化と実践」と経営者の技量向上のための「経営者塾の開催」との話がありました。特に経営指針の成文化について長崎は全国と比較してまだ低く、同友会全体で会員企業の実施率向上を目指したいとの強い思いがあり、入会以来ずっと取り組んできたことを話されました。今回の事例紹介では大村支部の永野さんの経営指針づくりを紹介され、その第一歩である「経営理念」を紹介されました。永野さん自ら、企業紹介、策定した永野工務店の経営理念を発表されました。

〈経営理念〉

「私達は、実用性と美しさを兼ね備えた住宅 心地よく、笑顔が溢れる空間の提供を目指します。私達は、関わった全ての人々が、豊かで幸せな人生を送れる努力



を惜しみません」

「経営理念ができたから進むべき方向性、大事にした
い価値基準が明確になり仕事にも意欲的に取り組むこ
とができるようになってきた。今後は経営計画、10年
ビジョンの策定にも取り組みたい」という報告でした。

宇土さんより経営指針は「経営理念、10年ビジョ
ン、経営方針、経営計画」で構成されているが、特に
10年ビジョン＝10年後、自分がワクワクできるよ
うな目指すべき姿をイメージすることで現在から未来
へと、今何をすべきか考えることができ経営指針策定
が上手く進んで行くと最後に締めくくられました。学



び多き例会となりました。

(文責 徳田 義彦)

諫早支部 例会報告

日 時	5月23日(木) 18:30～21:00
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	ピンチこそチャンス ～本当のしあわせとは、困難の中にある～
報 告 者	杏てい 店長 野田 文子 会員



令和元年がスタートして、最初の通常例会となった
今回の報告者は、諫早市の中華料理「杏てい」の女将、
野田文子さんでした。入会2年目ということもあり、
緊張感のある中、ご自身の体験報告をしていただきま
した。



ご自身やご家族の病のこと、店舗の火災などの困難
を経て今の自分がある。苦難を知っているからこそ本
当の幸せを理解し笑顔で頑張れるといったお話に感動
をいたしました。

当日、会場にはご主人と2人の娘さんがゲストとし
て参加し、ディスカッションにも参加しました。座長
の上野さんのまとめの時には、ご家族にも感想をいた
だきその絆の深さに会場は感動に包まれました。

今回学んだことは、あきらめない気持ちです。野田
さんは、店舗の火災という飲食店にとっては最大の危
機を経験しても前を向き進まれています。これから
先、自分にとって未知の困難があるかもしれませんが、
その先の笑顔のために立ち向かっていきたいと思
います。

(文責 太田 陽)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

島原支部 例会報告

日 時	5月23日(木) 19:00～21:10
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	経営指針書発表会
報 告 者	(有)島原種苗 代表取締役 河原 邦昌 会員 (株)平野FACTORY 代表取締役 平野 大介 会員



島原支部では2年前から経営指針の作成セミナーを開催しており、そこで経営指針書を作成された2人に報告していただきました。まず始めに河原さんが経営指針書をつくるにあたって、取り組んできたことを話していただきました。フグの繁殖、稚魚養殖を16年前からやっておられ、10年目まではがむしゃらに仕事をやってきましたが、社員の労働時間は400時間以上、社員を幸せにできているのか？会社の存在価値まで疑問に思われるようになりずっと答えを探していました。どこから始めたらいいいのか、何から始めたほうがよいかわからないまま、過ごされている中、3年前に大きな損害もあり、今回経営指針の必要性を感じ作成されたそうです。まずは、自社の歩みと自分の歴史、付加価値、信念信条、10年ビジョン、経営理念『海の営みを未来へ、命を未来へ』を細かく話されました。過去があって未来があり、過去をしっかりと知ること、未来の自分が描ける。そして自分の歩みと思いを、言葉にして文字に落とし込んでいくことが大事だと思いました。

続いて平野さんが、経営指針書をつくって1年目か

ら2年目へ、変わっていった経営方針をまとめた報告をしていただきました。経営指針書をつくるきっかけは、経営難と火事での多大なる損害があり、有田の前田ダンボールの社長さんから経営理念がないから経営が上手くいっていないと指摘を受け、それが心残りになっていたためだそうです。まずは、経営理念『大地の恵みを皆様に』、10年ビジョン、経営方針、SWOT分析をお話ししていただきました。分析の中で農業だけではなく、父が行っていた石の採掘事業、基盤整備事業への納品の新しい事業への展開に進まれ、(株)平野FACTORYを立ち上げられました。SWOT分析で自社の強み、弱み、機会、脅威を知ること、やりたいことを考えるのではなくより具体的なやることがわかったのではないのでしょうか。

今回の報告で、経営指針書とは何なのか、会社にとっての必要性、それを今回のお二人の報告により改めて感じることができました。これを機に経営指針書をつくらうと思った会員さんが増えたのではないかと思います。おのおの20分と短い時間で、駆け足でお話ししていただきましたが、細かく作りこまれた資料で勉強になりました。



(文責 北尾 新)

投稿募集のご案内

DOYUニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

佐世保支部 例会報告

日 時	5月17日(金) 19:00～21:00
会 場	アルカス佐世保
テ ー マ	同友会に育てられた私
報 告 者	STSOL 府川開発 代表者 府川 正樹 会員



令和元年最初の例会報告者は佐世保支部の府川さんです。

府川さんは同友会に入会する前から例会・役員会に積極的に参加され現在は支部情報広報委員長として頑張っていただいています。

大学では建築家の道を目指して勉強をしたもののリーマンショックの影響で就職先が見つからず職業訓練校でコンピューターを学ぶこととなり一度も就職することもなくその時の先生だった佐世保支部会員の永末さんが立ち上げたSTSOLネットワーク研究会（HP製作・PC講師・PCサポート）に参加して個人事業主として起業されました。

起業と同時に同友会に参加することとなり2年間はゲストの立場のまま役員会に参加していましたが先輩会員からそろそろ入会せんねと言われて同友会に入会



しました。

佐世保支部の経営指針づくりセミナーに参加して自社の在り方や方向性を考えた時に幼い頃おじいちゃんや近所のおじさんが地域の人に頼られていたことを思い出しパソコン業務を通じて自分も人に喜ばれ頼られる仕事をしたいと考えるようになりました。

現在では個人宅（高齢者）に訪問してパソコンやスマートフォンの講師をする中でお客さんに頼られ喜んでいただいているそうです。

今後も沢山の方に喜んでいただけるよう頑張っていたきたいと思います。

（文責 中島 禎雄）

北松浦支部 例会報告

日 時	5月22日(水) 18:30～21:00
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	働き方改革
報 告 者	税理士法人 ウィズラン(平戸オフィス) 代表社員 松永 いづみ 会員 木場田社会保険労務士事務所 所長 吉田 大 会員

1. 松永さんの職場内実践事例。

経営目標達成のためのKPIの導入。目標達成のため、日々の行動が適切に進捗しているかをチェックするための基準指標の設定。導入するメリット。KPI設



定の手順。失敗しないための12のポイント。KPI事例等々。

2. 吉田さんより、「会社の魅力化プロジェクト」



についての報告。働き方改革の三本柱。

①雇用管理（労働環境）の整備 ②労働生産性の向上 ③組織マネジメントの順で、レジュメに沿い報告いただいた。その後グループディスカッション。ディスカッションテーマは「あなたは働き方改革にどう取り組んでいますか？」

グループ発表は堤さんと中村さん。

業種によって、規模（従業員数）によって働き方改革関連法への取り組みに温度差がある。特に労働時間に対する取り組みや考え方について。

労働条件の法令遵守のためには、生産性向上が必須。その一環として設備投資を積極的に取り入れている。

働き方改革関連法を遵守することで、生産性が低下したり、モチベーションが低下したり業務遂行に支障をきたす等を懸念するのではなく、遵守するためには、いかに無駄を省き効率化を図り、生産性が向上する組織マネジメントを実践することで魅力ある会社づくりを行っていききたい。

総評鬼塚さん、何回聞いても、組織づくりの参考になり、改革意識が高められる。多くの仲間と共有し、地域発展につなげていきたいので、仲間づくり活動を進めていきたい。

（文責 前川 浩二）

五島支部 例会報告

日 時	5月23日(木) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	負けないことが大切 最後に勝てばよかばい！ ～私にとっての人生訓～
報 告 者	(有)マコト測量設計 代表取締役 設楽 誠 会員



5月度の例会は3名のゲストを迎え合計18名の参加でした。令和初の例会に相応しく、司会の宮田さんの大きな発声で始まりました。報告者は本年度の支部長、設楽さん。会社の紹介から、22才の時に以前の会社を3人で起業したことや、現在のマコト測量設計を起ち上げた経緯、起業後について詳しく報告されました。最初に起業した会社の社長から独立を言い渡された時、独立当初の過酷な状況、初めての大きな仕事の受注など、その時々苦勞や困難、またそれを乗り越えた時に、経験から得た多くの人生訓を添えながら報告されました。たくさん紹介された人生訓の中で繰り返し教えていただいた言葉を一部紹介します。

「建設は死闘、破壊は一瞬」「魚は頭から腐る」「見るもよし、見ざるもよし、されど我は咲くなり」「あたりまえのことを、あたりまえにやる」

そして最後に今回のテーマにつながる人生訓

「勝たなくて良い、負けないことが大切、最後に勝てば良い。」

「その日々の積み重ねで最後に笑えれば良いじゃないか。」

を伝えて令和最初の報告を締められました。

大きな苦勞話を淡々と、そして時にユーモアを交えて話される姿に設楽さんの人柄を感じるとともに、聞く側に飽きさせない報告を学ばせていただきました。今後に生かしていきたいと思ひます。

（文責 高細 圭一）

会員活躍

(右) 長崎新聞 5月28日 島原支部 柴田 雅史 会員
 島原支部 末永 義邦 会員
 島原支部 古瀬 智裕 会員
 (下) 長崎新聞 5月28日 諫早支部 永江 嘉國 会員

経済が回る

▼昭和堂が「令和」グッズ販売 諫早市の販売促進サポート会社「昭和堂」が新元号を記念してクリアファイルとメモ帳を商品化し「写真」クリアファイルは、中央に「令和」の文字を印刷したものと「大化」からすべての元号を記載した2種類。いずれもA4サイズで250円(税別)。4サイズで250円(税別)。メモ帳は、一枚ずつに「大化」から「令和」まで248の元号を記載。A7サイズ248円で800円(税別)。昭和堂(0957・222・600)



黄金色の穂波「麦秋」

収穫、そうめん加工へ

南島原の地域活性化グループ



初めて栽培した小麦を収穫した島原じげも倶楽部

風でさやさと音を立てて波を打ち、麦の穂が実る「麦秋」のたまたまいを見せている。製麺業者でつくる地域活性化グループ「島原じげも倶楽部」は、地元で栽培した小麦で自前の製品をつくらうと昨秋、パンや麺類の原料となる「ミナミノカオリ」と「ゆめちから」を約20㌦の畑に初めて作付け。25日は、4人がコンバインなどを使って約1トを収穫した。同町で製麺業を営む末永義邦代表(49)は「地場産品として市場に出すには約3倍の収穫量が必要だが、1年目としては上出来。そうめんに加工する日が楽しみ」と目を輝かせた。(西隆志)

長崎新聞 5月16日 長崎出島支部 田島 光浩 会員

瑞宝太鼓 フランスで響く

2都市4公演、会場を魅了

雲仙市瑞穂町を拠点に活動する知的障害者のプロ太鼓グループ「瑞宝太鼓」が2月にフランスを訪れ、日仏交流事業に出演した。計4回のステージで勇壮なバチさばきを披露すると、全会場でスタンディングオベーションを受けた。

瑞宝太鼓は2001年から社会福祉法人「南高愛隣会」(諫早市・田島光浩理事長)の事業所として全国で演奏活動を展開している。現在、メンバーは16人。海外も含め年間約100回以上の公演を重ねている。

今回の交流事業は、フランスに日本文化を紹介する目的で内閣府などが企画した「ジャポニズム2018」の一環。メンバー18人が2月23、28日、ナント、パリの2都市でそれぞれ2回ずつ演奏した。ナントでは地元のプロダンサーと共演し、「日仏コラボ」が実現。静と動が織りなす舞台に、観客は体を揺らして響きを楽しみ、演奏後は観客が立ち上がり拍手と歓声を送ったという。

田島理事長と岩本友広団長(42)らがこのほど、雲仙市役所を訪れ、金澤秀三郎市長に報告した。田島理事長は「全公演ほぼ満席で大きな歓声をもらい、感動した。芸術



金澤市長にフランス公演を報告する(右から)田島理事長と岩本団長
 —雲仙市役所



フランスで公演する瑞宝太鼓のメンバー

2月(南高愛隣会提供)

の街での成功は自信になった」と振り返った。金澤市長は「みなさんの活動を誇りに思う。ますますの活躍を期待する」と激励した。岩本団長は「観客の「ブラボー」の音がうれしかった。これからも世界に向けて、大好きな太鼓を打ち鳴らしていきたい」と力を込めた。(中村亮介)

事務局企業訪問

今回は西彼杵郡長与町に事業所を構える長崎浦上支部 山崎 晃さん((株)山晃ユニティー)にお話しをおうかがいしました。



【山晃ユニティー】

山晃ユニティーは35年前に山崎さんのお父さんが創業。創業当時の社名は「山晃」で、山崎晃さんの名前にちなんだものでした。創業時はエクステリア(フェンスやカーポート等)の施工を行っていましたが、現在ではそれに加えてエントランス製品であるフロントサッシの加工・製作をしています。フロントサッシとは、ビルや店舗の出入り口の商品(自動ドアや自由開きドア等)のことです。また住宅用のサッシの取り扱いもしています。

企業訪問の際には自動ドアの加工・製作の現場を見せていただきました。自動ドアは既製品を取り付けているとばかり思っていたのですが、ほとんどがオーダーメイドで作っているとのことで大変驚きました。加工・製作も自社で行っているので「大き過ぎる」または「小さ過ぎる」ためにメーカーの取り扱いが難しいものにも対応することができ、さらに短納期が可能ということが山晃ユニティーの強みということでした。

【30歳の事業承継】

山崎さんは大学卒業後、山晃ユニティーに入社。そして2005年、30歳の時に代表に就任しました。

代表就任当時はお父さんのお客さんが多く、お客さんからはお父さんを社長と見ることが多いことに悩みました。そこで山崎さんは頑張っ自分のお客さんを増やすことで、以前のお客さんからも社長として徐々に認められるようになりました。

また、社内では年上の社員が多く関係づくりに苦労したため、コミュニケーションをとるよう心がけました。それは普段の声掛けもそうですが、業務の都合で顔を会わせない日もあるため、時間をつくって現場をのぞきに行ったり、その日のことを聞いたり、1日何もしゃべらないということもなくすことで関係も改善されました。

【同友会との出会い】

同友会に入会したのは7年前、経営者の方とはお客さんとししか会う機会がないため、いろいろな業種の経営者に会うことで勉強ができればという理由での入会でした。

入会してみると、経営者の考え方がそれぞれ違うところが面白く、また参考になり、経営者としての考え方を改めることができたそうです。

また、青年経営者会では同年代の仲間ができ、お互いの悩みをざっくばらんに話すことができる環境が非常に良いと感じているそうです。

【仕事への思い】

ホームページの冒頭に「想いを形に…、理想の建物づくりのお手伝い」と掲げています。

「完成後、お客さんが使った時にどう思うか？」を常に考え、お客さんの希望を叶えただけでなく、出来上がった後も快適に利用いただけるような提案をしてくれないといけなく考え取り組んでいます。またフロントサッシは不特定多数の方が出入りをするため、不具合があってははいけません。ケガがないように安全なもの、また防犯の面でも気を遣っています。

【今後の展望】

窓周りの工事をする中で、カーテンの取り扱いはないのかと依頼もあり、山崎さんはインテリアコーディネーターの資格を取得し、インテリア関係の取り扱いや内装工事、さらには戸建てのリフォームや新築も手掛けるようになりました。

このようにこれまでの社業を中心に、自社に何ができるかを見極めながら、さらに事業が広がるようもっとチャレンジしていきたいとこれからについて山崎さんは語られていました。

今回はお忙しいところお時間をいただきありがとうございました。山崎さんの事業がさらに幅が広がり、ますます発展をすることをお祈りいたします。

<会社概要>

(株)山晃ユニティー

〒851-2121 長崎県西彼杵郡長与町岡郷1474-22

TEL: 095-887-1011 FAX: 095-840-5080

ホームページ: <http://www.sanko-c.com>

(文責 事務局 田口 友廣)



新入会員の皆さんです <5月入会・交代>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	諫早支部		
氏 名	いけだ しん 池田 慎		
企 業 名	(株)VOICE エージェンシー		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0057 長崎市大黒町10-10 KoKoRoビル6F 631号		
T E L	090-1088-3592		F A X 095-857-5081
業 種	クロスメディア事業		
企 業 PR	2019年4月設立のまだ新しい会社です。ポータルサイト運営・ラジオ番組制作・ホームページ制作・イベント・講演事業・広告代理店業等幅広くクロスメディアマーケティング事業を行っています。		
スポンサー	上野 辰一郎		

<交 代>

支 部 名	島原支部		
氏 名	さはら けんたろう 佐原 健太郎		
企 業 名	(株)佐原		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒855-0873 島原市北安徳町3077-1		
T E L	0957-62-2732		F A X 0957-64-4525
業 種	建築・土木資材の販売、サッシ・ガラス・エクステリア各種工事、リフォーム全般		
企 業 PR	私たちは日頃から地域の皆様のおかげで仕事をさせていただいています。経営理念に「仕事を通じて地域に笑顔と元気を与えられる会社を創造する」とし、少しでも地域に必要とされる会社を目指しています。		
前 会 員	佐原 俊樹		

6月理事会 報告

6月7日(金) つくば倶楽部 出席22名 欠席6名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

6/4と6/5は中小企業憲章・条例推進月間のキックオフ会議と中同協幹事に参加しました。今回は全政党から1人ずつ話がありましたが、同友会の要望に対する話があり、認知度が上がっていると思いました。話の中で多くあがっていたのは、事業承継のことで個人保証についてでした。最近では倒産の3倍の廃業があるということで、小規模事業所は非常に廃業が増えておりハッとしました。我々に関する事なので、しっかりと学ぶ必要があります。

仲間づくりについて

1) 入会・復会・交代・退会の承認について
- 入会2名、復会1名、交代3名、企業変更2名、退会5名を承認

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

・原田仲間づくり委員長 総括
5/20に県委員会を実施。全支部から参加いただき、総勢23名での委員会でした。昨年に続き、年3回県下一斉で仲間づくりに取り組むことを確認して、各支部から力強い意気込みをいただいております。当日は金井代表理事や山副代表理事にも参加いただきました。また表彰については、最後の締めを3月理事会承認分まで含ませていただきます。次回は7/6に五島での開催です。全支部から参加いただいております。活発な活動が数字につながるように、各支部でマニュアルの内容を落とし込み、実行をお願いします。

・金井代表理事
委員会では多くの方が参加して、熱気を感じました。会員数は伸び悩んでいますが、どうぞよろしくお願ひします。幹事会で仲間づくりについて、ある方から「能あるバカになりなさい」、広浜会長から「全員で仲間づくりをやろう、いろんなことをみんなでもやってみよう」と学びました。仲間づくりは同友会の良さを内外に伝える活動です。そして最後に中山幹事長が言われたことをお伝えします。「その気にさせる」「みんなで作る」「最後までやる」以上です。

協議・承認事項

- 1) 経営フォーラムについて - 平湯実行委員長・廣谷副実行委員長 (三役会案) - メインテーマと記念講演テーマの関連付けの検討を依頼。
→ 記念講演テーマを「次代への挑戦」～今、私にできること～とすることを承認。予算案を承認。
- 2) 経営者塾ガイドラインについて - 人を生かす4委員長
→ 経営者塾ガイドラインを承認
- 3) 全国大会参加報告アンケート回答フォームについて - 浦郷情報広報委員長
→ 全国大会参加報告アンケート回答フォームを承認。
- 4) 組織検討特別委員会の委員追加提案について (三役会案) - 川上ビジョン委員長と田口事務局主任の委員就任を提案
→ 三役会案を承認

報告・連絡事項

- 1) 5月 県本部・支部・委員会等の活動状況について(抜粋)
＜委員会等＞

例会	<p>日時 5月27日(月)19時00分～ 会場 諫早市社会福祉会館 出席111名</p> <p>1、例会企画書の運用について ・5月例会の反省は通常、6月の役員会で行為、評価・検証を翌々月の例会企画書に反映してはどうかとの意見が出された。理由として、例会が終わってからの評価・検証について、支部役員会で反映されないまま表示されている点が上げられる ・理事会にて支部長が報告している例会の反省は個人的な意見が多く、例会委員長との意見が違ふ為、例会委員長が例会企画書を記入して、その企画書を支部長が確認し、記入してはどうか? ⇒委員会決定事項として、6月分の例会企画書から行う(5月の例会の反省) 今後、例会の反省については役員会で確認したものを書き入れることを理事会当日も確認</p> <p>2、各支部4月例会の反省、感想、出席率、など報告 ⇒全支部で出席率の低下に課題がある 役員会にて例会の評価・検証を行い、内容の周知、徹底を図っていく 評価・検証について記載例をマニュアル化し、誰もが内容を書き込めるようにしていく</p> <p>3、第4次ビジョン進捗アンケート検証・フィードバックまとめについて</p> <p>4、事務局より、その他持ち寄り議題 ・ディスカッションの発表用紙は報告者に渡すようにする 委員会決定事項 ※発表用紙を報告者に渡すことを理事会当日も確認</p>
経労	<p>(1)今年度の活動方針 「経営労働委員会の活動を全支部に拡大し、活発化する」</p> <p>(2)具体的な活動について 2-1 「経営者塾」の開催 2-2 経営指針実践セミナー(第3期)の開催 2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化(今回の活動) ・5/22 第1回委員会を開催 上記内容を発表し、ご支援をお願いした第4次ビジョンの振り返り、第5次ビジョンの説明をした 特に「経営者塾」については、支部での開催を要請した ・「経営者塾」の内容については、4委員長会にて検討中</p>
共育	<p>5月20日 第1回共育委員会 場所:シーハットおおむら 参加者:9名 ・合同入社式の振り返り ・各支部会での共育委員会の活動の話し合い(出島:県の委員長の動画を流し、その後委員会活動について話し合う。佐世保:共育委員会の担当の月のイベントがある。等々) ・第1回新入社員フォローアップ研修についての協議 ・6ヶ月共育研修 社長・幹部・マネジメント層向け 『共育ち業績アップ講習』9月より月に1回開講(月曜日の13時～16時10分) 目的は、数値で伸び率を出し、カリキュラムにして同友会の魅力にする。新人研修受講のメンバーと会社に戻った時の中堅社員とのギャップも埋めたい。 対象者は幹部、マネジメント層</p>

政策

■5/7(火) 第1回政策委員会開催 @テラスフィールド
【出席者】15名
【内容】
・各自自己紹介及び各支部委員会方針説明・県委員会方針説明・その他政策委員会としては各地に(未制定地域に)中小企業振興基本条例が策定されることを優先事項として活動することを確認した。
■5/10(金)長崎県産業労働部への表敬訪問 @長崎県庁
長崎同友会として官民協同の形を明確にしていきたい旨、伝達した。
■5/27(月)長崎大学 山口純哉准教授ほかゼミ生とのミーティング @長崎大学
昨年同様、長崎大学との連携による県内景況調査についての協議。

情広

5月20日(月)19時00分～同友会事務局にて委員会を開催。参加者8名
1. 広報誌 編集会議
【巻頭】
・6月号 →青年経営者会 第36回定時総会
・7月号 →九州・沖縄ブロック 支部長・支部役員研修交流会
・8月号 →中同協 第51回 定時総会
【その他の記事(候補)】
・佐世保支部 ビジカルランチ
・大村支部 (谷信一郎会員(株)恵比寿組 経営指針発表会)(6月号若しくは7月号)
・新入社員フォローアップ研修(8月号)
※共同求人委員会枠の記事追加→記事内容については要打合
●広報誌企画案 「各界からの提言」について
2. ホームページについて
年間アクセス状況、ページランキング追加検証
3. e.doyu利用
4月アクセス数61% 返信率54%に推移している(前回は59%、52%)
e.doyuモバイル版 ホーム画面追加方法のマニュアル作成行(アンドロイド、 아이폰)
4. その他・情報交換
※簡易報告書(参加アンケート)について
※広報誌用報告依頼の選方法について
・分科会別・支部別・性別・性別・初参加若しくは会歴の浅い会員を優先上記を考慮し報告依頼の選を行う。
その他 経営フォーラム(記念講演)等の動画データ配信について意見有り
現状→DVD等で配付

仲間づくり

5月20日県委員会開催。全支部から参加をしてもらいました。ご配慮いただいた支部長の皆様、そして委員の皆様には本当に感謝しております。ありがとうございました。
委員会当日は今年度方針の説明と、マニュアルの一部改正点の確認をし、支部ごとの取り組み状況や現状の確認が出来ました。マニュアルの変更内容についてはファイルをアップデートしますので確認をお願いします。まずは7月16日に第1回目となる「仲間づくりの日」が開催されます。事前準備が大変重要となりますので、ご協力及び計画的な取り組みをよろしくをお願いします。

ビジョン

5月理事会にて支部問題に関する組織検討委員会が立ち上がりました。今後ビジョンの浸透活動と併せて、協議してまいります。

ダイバーシティ

5月7日に新体制初の委員会を開催いたしました。6月28日サンスバおむろ2階会議室で開催する第12回例会の内容を話合いました。島原特別支援学校 池田先生、虹の原特別支援学校 山下先生、南高愛隣会 野口様より特別支援学校のお話をいただきます。

共同求人

5月21日(火) 長崎県庁若者定着課 宮本課長と面会(事務局峰次長)
5月24日(金) 2019年度第1回共同求人委員会開催
5月27日(月) マイナビ長崎支社 小庵 真高支社長と面会(橋口・事務局峰次長)
7月1日(月) 2019年度第2回共同求人委員会開催予定(ゲスト:長崎純心大学 キャリアセンター事務室長 小森奈緒さん)
県の委員会として
5月24日の共同求人委員会では、初めて委員となる会員もいらっしや

たので、①共同求人委員会の意義と目的、②4委員会の意義と目的・および各支部での4委員会開催の推奨、③経営者塾の意義と目的について改めて共有した。また、議案書に則って、県委員会および各支部での活動計画を共有し、各支部の進捗状況を報告した。第1四半期の活動については、共有委員会と合同で実施したい採用と社員教育に関するアンケートや、純心大学小森キャリアセンター事務室長をアドバイザーに、長崎同友会らしいインターンシップの仕組みづくりをスタートさせることを主要取組みと再確認した。

行政・民間との連携
廣田産業労働部長への表敬訪問後、行政との連携の模索として若者定着課の宮本課長と峰次長が面会。
マイナビの小庵支社長とは前向きな連携案が生まれた。委員会にお招きし、長崎県の就活状況についてご教示していただく時間を設ける運びとなった。マイナビとは、行政を絡めた若者へのアプローチの場づくりを模索していくとともに、マイナビ登録の「同友会割引」なども提案していく予定。

県委員会副委員長の決定
今年度から2名の副委員長が就任。
大村支部 大塚正一会員、諫早支部 野方康平会員

青年経営者会	5/10役員会、5/11定時総会を開催。総会では、全議事、満場一致でご承認をいただきました。また、北九州青年懇話会より7名参加していただき、懇親交流会では、今期もお互い協力、交流していくことを確認しました。
事務局	5/29 事務局会議開催

- 2) 人を生かす経営4委員会より－各委員会から補足あり
 - 3) 組織検討特別委員会より－(理事会前に開催)
(金井代表理事)第5次ビジョン到達に向けての7つの柱(補足説明2)の実現に向けて協議を進めています。そこをぶらさずに進めていくということで意思の統一ができました。
→組織検討特別委員会より、各支部役員会にて第5次ビジョン到達に向けての7つの柱(補足説明2)の実現に向けての意見をいただくよう依頼あり。
 - 4) 例会について(更なる充実をめざして)－本多例会委員長
委員会ではどの支部も出席率の低下と当日のキャンセルが増えているという話が出てきているので、役員会で検討していただきたい。役員会で例会のどういった点を反省するのかというマニュアル作成もすすめていきたい。また、例会の出席率だけでなく、他の活動に参加したという参加率という指標があってもいいのではという話もあった。最後に、5月はどの支部も出席率が落ちているので、例会内容の周知徹底と声掛けをお願いしたい。例会企画書には報告要旨が抜けているところもあるので、しっかり各支部埋めていただきたい。ご協力をお願いします。
 - 5) 中同協 主要行事の参加状況(敬称略)
6/4 憲章キックオフ会議(6/5 幹事会・九州・沖縄ブロック代表者会議)／東京・金井代表理事・松尾相談役(全研実行委員長)・山田事務局長
6/13・14 第22回 女性経営者全国交流会／広島/6名(目標2名)
6/20・21 第13回 九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会／福岡(北九州)17名(目標20名)
7/4・5 第51回 定時総会／東京/13名(目標25名)
「組織強化」第12分科会報告－原田仲間づくり委員長・佐世保支部 村上敦子会員
※中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議 参加報告
今回 初めて政党を代表しての発言を設定。(これまで同様 個別発言の時間もあり)
 - 6) その他
・(峰事務局長より)活水大学で、山口善也会員、貞松徹会員、山口絵理会員に授業で報告いただきました。活水大学とは同友会と面の活動を今後していきたいと考えています。
・(馬場支部長より)6/18 16:00より長崎ウエスレヤン大学で就職活動スキルの授業があります。同友会より、市来会員、寺尾会員、原田会員に報告いただけます。ぜひご参加ください。
- ※次回開催 7月2日(火) 19時 つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更

福永 智宏 会員 (島原支部)
新会社名: ソニー生命保険(株) 長崎7iファンセクター-第3支社 第3営業所
新住所: 〒850-0035 長崎市元船町9-18 BizPORT5F
新TEL番号: 095-804-9280 新FAX番号: 095-804-9281

出口 寛幸 会員 (佐世保支部)
新会社名: (株)D's LDC office 新役職: 代表取締役社長
新住所: 〒857-0876 佐世保市塩浜町8-50-304

会 員 数 (6月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	134	130	125	100	90	200		38	
期首	113	112	97	91	68	181	42	31	735
現在	111	110	101	92	68	180	40	31	733

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
立川 秀樹	メンズヘア エスプリ	長崎浦上	2017年7月
寺澤 律子	(株)西海建設	長崎浦上	2015年4月
宮原 啓吾	長崎友愛会	佐世保	2018年10月
森川 寛子	森川司法書士事務所	北松浦	2015年8月
山口 庄重	(有)ナンバーワン	北松浦	2001年11月

7月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 7月23日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ 未定
報 告 者 未定

●長崎出島支部

日 時 7月29日(月) 18:00～20:30
会 場 ホテルニュー長崎
テ ー マ 外国人雇用について
報 告 者 (有)金井建設 代表取締役
金井 政春 会員 (大村支部)

外国人雇用を率先してされている金井さんに雇用してどのような変化があったのか、そして周りの社員は何か変わったのか、始められてからの体験をお話していただきます。

●大村支部

日 時 7月18日(木) 18:30～21:00
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ そうだったのか! 中小企業振興基本条例!
報 告 者 元 大村市商工観光部長 高濱 広司 氏
元 大村商工会議所副会頭 松本 長康 氏
大村支部アドバイザー 富永 栄一郎 会員
大村支部アドバイザー 宮田 正一 会員

大村支部は長崎県下において、条例制定はもとより、活用においても他地域より先んじて進んでいると言えるが、他地域においては未だ制定するプロセスについて難航している状況である。加えて、大村支部会員についてもそのつくられた意義、目的、活用について全ての会員が理解しているとは言えない。まずは全ての会員が中小企業振興基本条例をしっかりと理解することを目的とする。そこで、本例会では、大村市中小企業振興条例の創始、また当時の当事者の方からその思いを聞き「何のためにできたのか」「どういうプロセスを踏んできたのか」「中小企業家のメリット」を知る内容とし、これらをしっかりと踏まえて中小企業振興基本条例の更なる進化のヒントを掴むものとする。

●諫早支部

日 時 7月18日(木) 18:30～21:00
会 場 四季の蔵 食楽亭
テ ー マ 「選ばれる企業づくり」の実践
報 告 者 (株)富建 取締役 総務部長
野方 康平 会員

人口減少、若者の流出、社会環境の急速な変化…。皆さんの会社はこれらの重大な課題に対応できていますか? また、危機感を持って計画を立てられていますか? 私達を取り巻く環境は、今後、ものすごいスピードでより一層厳しさを増していきます。そのスピードたるや今日の常識が、明日の常識では無くなる程です。本日、お話しいただきますのは、そんな課題にいち早く取り組み、社員が働きやすい環境を築き、この採用難の中において、毎年安定して新卒の採用を実現されている(株)富建の取締役総務部長の野方さんです。そこには、堅実でもあり、常識破りの取り組みが隠されていました。これからの経営のヒントが豊富に詰まった報告です。

●島原支部

日 時 7月18日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ 働き方改革
報 告 者 梅澤社会保険労務士事務所 所長
梅澤 浩 会員

●佐世保支部

日 時 7月19日(金) 18:30～21:00
会 場 九十九島ベイサイドホテル&リゾート FLAGS
内 容 未定

●北松浦支部

日 時 7月23日(火)
会 場 松浦シティホテル
内 容 未定

●五島支部

日 時 7月19日(金) 18:30～21:00
会 場 未定
テ ー マ 経営指針作りは人を生かす経営の原点!
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員
宇土 敏郎 会員 (大村支部)

●青年経営者会

日 時 未定
会 場 未定
内 容 未定

